

令和7年度右俣谷第4号上流砂防堰堤林道付替工事における安全対策について

美笠建設株式会社 令和7年度右俣谷第4号上流砂防堰堤林道付替工事

工期 自 令和7年6月24日 現場代理人 はやし こうじ
至 令和7年12月24日 監理技術者 林 孝二

キーワード： 第3者災害の防止、熱中症対策



1. はじめに

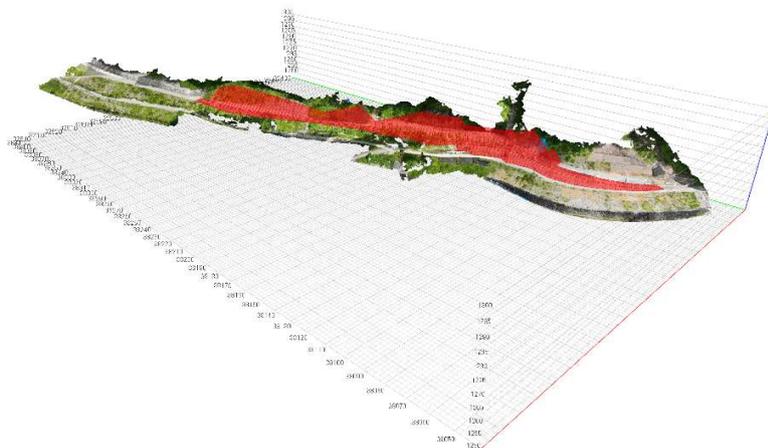
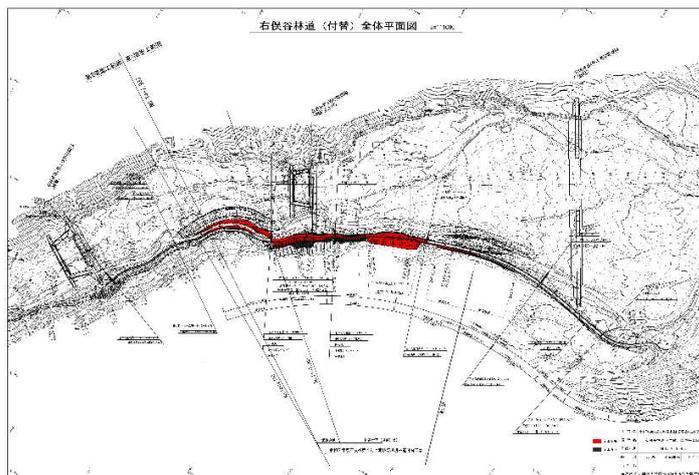
右俣谷流域では土石流から地域の暮らしを守り、土石流危険渓流からの発生土砂の流出を防ぐため、砂防堰堤の整備を行っています。

本工事は、その砂防堰堤の嵩上げ及び、新設に伴い既設の右俣林道を新しく付け替える工事です。

右俣林道は穂高連峰や槍ヶ岳への登山ルートであり、毎年多くの登山者が訪れます。当現場においては特に第3者災害の防止に留意して工事を行いました。

2. 工事概要

道路改良					
道路土工	1式	舗装工	1式	電線共同溝工	1式
法面工	1式	排水構造物工	1式	仮設工	1式



3. 安全対策について

①登山者に対する安全対策

先に述べたように、右俣林道は登山ルートであり、シーズンを通して多くの登山客が訪れています。また、林野庁、警察(山岳警備)、電力会社、山小屋の関係者等車両の通行もあります。施工箇所が既設林道と平行しているため落石等による事故の発生が特に懸念されます。

当現場では落石による事故防止対策を重要課題として取り組みを行いました。

基本的な対策としては、通行者を確認した場合はとにかく作業を一時中断するよう徹底しました。

また、過年度工事にて使用した補強土壁用アデムの余りを落石防護柵として流用しました。



林道においては大雨等の影響により落石や倒木、道路の洗堀が発生することがあります。このような場合は速やかに除去・補修を行うよう率先して維持管理に勤めました。



道路幅の広い場所は歩行者と車両の区画
分けをし、接触事故防止に勤めました。

事故なくスムーズにすれ違いが出来まし
た。



現場事務所には消火器やAEDを登山者
等にも目につく場所に設置し、万が一の時
にはいつでも使用が出来るよう配慮しまし
た。

掲示板には熱中症指数計を掲げ、作業員
のみならず登山者においても注意喚起が
出来るよう配慮しました。



例年に倣って今年度も登山者も利用可能
な休憩設備を設置しました。

多くの登山者に利用して頂けました。

②作業員に対する安全対策

作業員に対する安全対策として、今年度は気温の高い日が多く特に熱中症に重点を置いて対策に取り組みました。



熱中症の掲示板のほかに作業員には全員に携帯用の熱中症アラームを所持させて各自、適度に休息させるように徹底しました。



現場周辺にはスズメバチも頻繁に目撃されたため、ハチに刺された場合でも速やかに対処出来るよう対策セットを常備しました。

4. おわりに

工事は一車線の狭い林道の施工でしたが、落石や接触事故もなく、また作業員においてもケガや事故なく無事工事を終える事が出来ました。

無事故で終える事は出来ましたが安全対策においてはこれで完全ということはありません。次の工事ではさらなる危険要因を拾い出しより安全度が増すよう対策について考慮していきたいと考えます。

最後になりますが、監督職員の皆様と工事関係者の皆様には数多くのご意見・ご指導を頂き厚く感謝を申し上げます。